11/6 上沖洲区にて防災訓練を実施
地域を挙げ津波に備えて

▲防災訓練の様子

上沖洲区（松下進区長）では、平成 25 年に防災訓練 5 ヵ年計画を策定し、全世帯に防災袋を配布するなどの取り組みを行っています。4 年目にあたる今年も区を挙げた防災訓練が実施されました。

大規模地震・津波を想定した同訓練では、区民約 200 人が参加。防災袋を担いだ区民が区役員や消防団員の誘導のもと、公民館に避難しました。公民館では、防災 DVD の上映、応急手当・救急救命講習、消火訓練、炊き出しの実施など充実した訓練で区民の防災意識を高めました。

松下区長は「災害はいつくるかわからない。備えるが大切」と話しました。

11/2 九州看護福祉大学で協力調印式
九州看護福祉大学との連携協力

▲協定調印式の様子

荒尾・玉名管内と九州看護福祉大学（森正臣理事長）による、地域と九州看護福祉大学との連携協力に関する協定調印式が九州看護福祉大学で行われました。

町は、平成 22 年度から同大学と地域福祉、健康づくりや人材育成などに貢献するための協定を締結し、様々な連携事業に取り組んでいます。

今回の締結により、さらに地域包括システムの構築、子育てに係る事業など、より広域的な各種事業の連携につながることが期待されます。

11/16 水産振興に向けて
宇佐市（大分県）と水産振興包括連携協定事業

▲あさりの生育状況を視察

町では、水産振興に関する包括連携協定事業として長洲町と宇佐市をはじめ、福岡大学・漁業関係者・企業関係者約 20 人が参加し開催しました。

町の水産振興事業に伴う新たな取り組み事例である産学官連携事業について、福岡大学工業部渡辺教授より説明が行われ、出席者から様々な意見交換が行われました。

また、長洲海岸地先での現地視察も実施され、今後も水産業分野において更なる連携を強化していくことが確認されました。

11/12・13 環境水族館アクアマリンふくしまで
ながす金魚を PR

▲金魚のまちながすを PR

町では、平成 27 年 10 月「まち・ひと・しごと創生」総合戦略を策定し、養魚復興へ向けて地方創生へ新たな取り組みをスタートさせています。

今回は、全国で唯一「金魚」を通年展示している環境水族館アクアマリンふくしまで初めてとなる「金魚」をテーマとしたイベント「きんぎょばざーる」が開催されました。

町でもイベントに参加し「ながす金魚」の展示をはじめ、観光 PR 事業として「ふれきんちゃん」出演や物販などで、金魚の町＝ながすを PR しました。

10/26 小さな子どもたちのがんばりに父母の熱い声援
はいはい・よちよち・かけっこ大会

▲前に向かって一生懸命な子どもの愛らしい姿

子育て支援センターは、未就学児親子を対象に「はいはい・よちよち・かけっこ大会」を開催しました。

この日は 40 人の 0 歳から 3 歳までの子どもたちが参加し、お父さんやお母さんの声援が飛びかうなか、一生懸命に前へ進もうとする子どもたちの姿に会場中の視線が集まりました。

参加したお父さん、お母さんからは「子どもの笑顔が見れてよかった」、「去年より早かったので、成長が見えました」などの声が聞かれ、子どもたちの成長を感じることができる時間となりました。

10/4 葛輪区で健康講話開催
健康なからだは健口（けんこう）から

▲真剣な表情で話を聞く参加者

葛輪区（上田正信区長）では、葛輪学習センターで町の歯科衛生士による「健康な体は健口から」というテーマで講話を行いました。

この日は 10 人の区民が参加し、口の健康を保つことが体の健康につながることを学び、参加者からは「口の健康を保つことは糖尿病や心臓病などの病気の予防につながることを知った」、「正しい歯みがきの方法がわかった」などの声が上がり、改めて口の健康を保つことの大切さについて知ることができました。

11/1 新たな水産振興へ向けて
㈱ ARC 海苔乾燥施設竣工式

▲除幕式の様子

町内に工場を有する金属加工の㈱ ARC が建設を進めていた海苔乾燥施設が完成し、現地で関係者約 60 人が出席して竣工式が行われました。

㈱ ARC によるこの海苔乾燥施設事業は、町・熊本北部漁業協同組合・企業が連携して実施する地方創生へ向けた新たな水産振興（企業参入）の取り組みで、養殖海苔加工への民間参入は全国で初めてとなります。

今後、この海苔乾燥施設を活用し、海苔生産の分業化を図ることで、生産力の向上や新たな雇用の創出、次世代を担う人材育成が期待されます。

10/30 秋の味覚を収穫
畑の学校収穫祭が開催

▲大きなサツマイモにニッコリ笑顔

秋晴れのなか、畑の学校収穫祭が開催され、16 人が参加しました。当日は、子どもたちが一生懸命にサツマイモ・四角豆・ピーマンの収穫を行いました。この畑の学校は、ながす地域活動（増岡美知子会長）が、子どもたちに栽培や収穫を通じて自然や食の大切さを知ってもらおうと、平成 23 年から毎年開催されています。参加者は収穫を終えた後、採れた野菜を使って料理体験・試食も行いました。参加者は「サツマイモがたくさん採れて嬉しかった。自分で採った野菜で作った料理はおいしい」と笑顔で話しました。